

窪田・西岡教授の退職に寄せて

— 社会福祉学教室の来し方と行く末 —

星 野 信 也

東京都立大学人文学部に最初の社会福祉関連講座，社会福祉学原論講座が設置されてから，早くも10年に達しようとしている。

いくつかの増講座要求を懸案として抱えながら，都立大学がともかく人文学部に3つの社会福祉関連講座を設置することとしたのは，したがって既にほぼ10年前のことである。当時，人文学部に戸塚学部長を委員長とする委員会が設置され，3講座の人事が進められた。早い段階から社会福祉学教室からの委員も加わり，社会福祉学原論講座，社会福祉方法論講座，そして社会福祉行政論講座と，予算化が3年度にまたがった人事を，すべてこの委員会から人文学部教授会に提案し，決定いただいた。いちいちお名前をあげないが，委員の諸先生のご苦勞に深く感謝申し上げる。

今回相次いで退任される窪田暁子教授（現東洋大学教授）と西三郎教授は，この委員会によって選任された助手を含む9人のいわば第1期生の仲間達である。記録の意味でこの仲間を着任順に書くと，藤崎宏子，小林良二，星野信也，副田あけみ，窪田暁子，石原邦雄，山口春子，岩田正美，西三郎の9名である。都立大学に新しく社会福祉学教室を構築する狙いが何処にあったかは，社会福祉の対象者理解に一つのポイントを置いたということ以外は，むしろこの記念論文集に語らせることとしたい。なお，名称をあげないが，これらの人を割愛された大学，研究機関に，改めて謝意を申し述べる。

3講座のティーチング・スタッフが揃った段階で，文部省に人文学部11番目の専攻とする認可申請を行い，1987年度新入学生から，A類6名，B類2名の定員枠で専攻学生を迎え入れることができた。現在のところ，本学部では，新

入学生は全員人文学部学生として入学し、1年終了時に専攻を決定することとしている。

都立大学は、1991年4月、八王子市へ全学移転する予定であるが、その機会に、社会福祉組織論講座および人間発達論講座を加えた5講座（学科完成時）の構想で人文学部に社会福祉学科を作り、A類15名、B類5名、計20名定員とすることを予定している。それと同時に、大学院社会科学研究所に社会福祉学専攻を新設する計画で、それぞれ必要な申請手続きの準備に入っている。

このように社会福祉学教室は、社会学教室はじめ人文学部そして都立大学あげての支援を受けながら、ようやく人文学部社会福祉学科および社会科学研究所社会福祉学専攻の計画が固まった段階だが、これまでの過程で窪田、西両教授には、伝統ある公立大学に未だどの国立大学にもない学科、専攻を新設する創製期の生みの苦しみとともに、21世紀を展望した社会福祉学研究教育創造の大役を担っていただいた。

この間、両教授の薫陶を受けた藤崎は東京都立医療技術短期大学講師に、副田は白梅学園短期大学助教授に、そして藤崎の後任であった藤村正之は武蔵大学講師にそれぞれ転出し、後任に、橋本明、江上渉を迎えた。また、窪田、西両先生に替わって、日野秀逸が既に着任し、久保絃章が近く着任する。

このささやかな記念論文集は、現在のメンバーのみによっているが、ここに収録された論文には、藤崎、副田、藤村の在任中、さまざまな形で内容豊かに続けられた共同研究からの学問的啓発が、なにほどこか反映されているに違いない。

窪田暁子、西三郎両先生ご在任中の多大なご貢献を記して厚くお礼申し上げますとともに、まだまだお若いお2人のご自愛といっそうのご活躍を見守らせていただくこととしたい。

西 三郎教授 略歴

氏 名 西 三郎

住 所

生年月日 昭和2年

学 歴

1950年3月 成城学園成城高等学校高等科理科卒業

1950年4月 千葉医科大学入学

1954年3月 千葉大学千葉医科大学卒業

1955年3月 医学実地訓練終了

1955年7月 千葉大学医学研究科入学社会医学系公衆衛生学専攻

1959年3月 同研究科卒業 医学博士

免 許

1955年6月 医師国家試験合格

1955年7月 医籍登録 医師

職 歴

1959年4月 厚生省に採用, 厚生技官任官 国立公衆衛生院勤務

1963年7月 同衛生行政学部衛生行政室長

1984年5月 総理府技官併任 経済企画庁経済研究所勤務

1984年10月 兼官を免ず

1983年2月 同衛生行政学部長

1983年5月 同教授

1984年12月 同退職

1985年1月 東京都立大学教授 人文学部社会福祉行政論講座担当
兼大学院社会科学研究所担当

1989年3月 定年退職予定

兼 職

1983年4月より現在まで 東京大学医学部非常勤講師 公衆衛生学 (現在は

60歳以上のため辞令無し)

1985年4月より現在まで 千葉大学看護学部非常勤講師 地域看護学

1985年4月より現在まで 横浜市立大学医学部非常勤講師 医学史

1988年4月より現在まで 日本女子大学非常勤講師 保健医療論, 医学一般
所属学会

日本公衆衛生学会評議員

日本医事法学会理事

日本プライマリー・ケア学会評議員

日本医療情報学会幹事

千葉医学評議員

社会医学研究会世話人

社会薬学研究会理事

日本医学教育学会

日本エム・イー学会

国際医療保健学会

日本老年社会科学会

日本健康科学会監事

日本総合健診学会

理論・計量経済学会

日本計画行政学会

日本統計学会

日本社会保障法学会

法とコンピューター学会

日本社会福祉学会

日本地域福祉学会

賞 罰

1974年7月 唄 孝一等との共同研究に昭和49年朝日学術奨励金交付を受ける

1981年8月 社団法人日野市医師会より感謝状「地域医療の向上に貢献」を

受ける

1986年2月 三鷹市長より感謝状「障害児の福祉の向上に貢献」を受ける

主な研究分野

公衆衛生学特に衛生行政学, 保健計画学, 医事法学, 医療経済学, 医療情報学

社会福祉学特に社会福祉行政論, 地域福祉論

西 三郎教授 業績目録

単 著

『最新保健学講座第1巻第2編 公衆衛生』, 377-506, メディカルフレンド社,
東京, 1974. 2. 25.

『コミュニティ・シリーズNo.5 地域保健活動とコミュニティ』, 1-64, 新生
活運動協会, 東京, 1974. 12. 28.

『現代看護基礎講座9 衛生法規・社会福祉』, 1-322, 真興交易医書出版部,
東京, 1982. 6. 30.

『現代看護基礎講座9 衛生法規・社会福祉』第2版, 1-322, 真興交易医書
出版部, 東京, 1985. 3. 20.

共 著

市川 洋, 西 三郎『経済企画庁経済研究所研究シリーズ 第29号 医療費の
統計と分析』, 1-198, 大蔵省印刷局, 東京, 1974. 11. 5

編著書, 共著

重松逸造監修, 松野かほる, 西 三郎, 木下安子編集『難病への取り組みと展
望』, 日本公衆衛生協会, 1-185, 東京, 1989. 2. 28

監訳, 翻訳

西 三郎, 姉崎正平監訳, ダグラス・A・フェルドマン, トーマス・M・ジョ
ンソン編『エイズの社会的衝撃』, 1-294, 日本評論社, 東京, 1988. 7.
20.

共 著

西 三郎: 医療費は高くなったが. 149-198, 朝日新聞社編『朝日市民教室
「日本の医療」第四巻 かけ足の医療費』, 朝日新聞社, 東京, 1963. 9.
15.

西 三郎: 統合的保健サービス活動をすすめるための資源. 142-200, 『医療と
公衆衛生』, 医学書院, 東京, 1966. 10. 15.

西 三郎: 日本人の食生活と栄養. 291-328, 日本科学史学会編『日本科学技

- 術史大系, 第11巻, 自然』, 第一法規, 東京, 1968. 3. 10
- 西 三郎: 風土病と疫学. 507-530, 日本科学史学会編『日本科学技術史大系, 第11巻, 自然』, 第一法規, 東京, 1968. 3. 10
- 西 三郎: ニードと目標の設定. 61-82, 『循環器疾患, 保健婦会第10回中央講習会集録』, 日本看護協会出版部, 東京, 1969. 4. 20
- 西 三郎: 急性伝染病と寄生虫症の動向. 214-225, 川上 武・松田道雄編『医学のすすめ』, 筑摩書房, 東京, 1969. 5. 30
- 西 三郎: 予算の基盤. 375-404, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノートⅡ』, 日本看護協会出版部, 東京, 1971. 10. 10.
- 西 三郎: 保健医療関係職種とその資格要件. 411-423, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノートⅢ』, 日本看護協会出版部, 東京, 1971. 10. 10.
- 西 三郎: 衛生統計と健康指標. 313-338, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノートⅢ』, 日本看護協会出版部, 東京, 1971. 12. 20.
- 西 三郎: 新しい保健医療施設. 196-209, 川上 武・中川米造編『市民と医療 講座・現代の医療 1』, 1-282, 日本評論社, 東京, 1972. 10. 1
- 西 三郎: 大都市の医療. 116-128, 川上 武・中川米造編『医療制度 講座・現代の医療 2』, 1-315, 日本評論社, 東京, 1972. 11. 1
- 西 三郎: 保健所を空中分解させる保健所問題懇談会答申. 51-58, 日本看護協会保健婦部会編『保健所再編成問題資料集』, 日本看護協会出版部, 東京, 1974. 8. 20.
- 西 三郎: 『へき地医療問題資料集』, 珠真書房, 東京, 1975.
- 西 三郎: 衛生行政の原則. 87-93, 橋本正己編著者代表『衛生行政大要改訂 第8版』, 日本公衆衛生協会, 東京, 1975
- 西 三郎: 老年期の医療福祉体系, 521-529, 長谷川郎編著『Hand Book 老年病学』, 岩崎学術出版社, 東京, 1975.
- 西 三郎: 公衆衛生. 224-235, 小山路男・山本正叔編『社会保障教室』, 有斐

- 閣, 東京, 1975. 11. 30
- 西 三郎: 地域医療と医療システム. 34-38, 益子義教・野村 拓編『地域医療Ⅰ』, 新日本医学出版社, 東京, 1976. 1. 24.
- 西 三郎: 保健所と地域保健を考える. 112-123, 益子義教・野村拓編『地域医療Ⅱ』, 新日本医学出版社, 東京, 1976. 11. 1.
- 西 三郎: 公衆衛生と保健計画. 156-193, 保健医療社会学研究会編『保健医療社会学の成果と問題』, 垣内出版社, 東京, 1977.
- 西 三郎: 保健医療関連職種とその資格要件. 383-395, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノートⅢ改訂』, 日本看護協会出版部, 東京, 1977. 3. 20
- 西 三郎: 衛生行政の財政. 432-467, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノートⅢ改訂』, 日本看護協会出版部, 東京, 1977. 3. 20
- 西 三郎: 衛生統計と健康指標. 313-338, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノートⅡ改訂』, 日本看護協会出版部, 東京, 1977. 3. 20
- 西 三郎: わが国の保健・医療システムとプライマリ・ヘルス・ケア. 105-130, 『プライマリ・ヘルス・ケア 1』, 国際看護交協会, 東京, 1978.
- 西 三郎: 都市の健康. 531-565, 篠野修一編『日本の中高年 1. 中高年健康管理学(下)』, 垣内出版社, 東京, 1979.
- 西 三郎: 疫学における利用. 95-97, 医療情報システム開発センター編『日本の医療情報システム』, 社会保険出版社, 1980. 3. 1
- 西 三郎: 保健・医療と福祉の供給体制. 123-141, 保健医療社会学研究会編『保健と医療の統合めざして』, 垣内出版社, 東京, 1980.
- 西 三郎: 地域保健. 213-232, 西川真八・小泉 明編『公衆衛生学』, 朝倉書店, 東京, 1980.
- 西 三郎: 地域社会における保健と医療. 91-119, 『社会保障講座 6, 地域社会と福祉の展開』, 総合労働研究所, 東京, 1980.

- 西 三郎：ヘルスマンパワーについて. 225-240, 高岡久雄・塚田裕三・上田泰・丸毛英二編『未来の医学』, 講談社, 東京, 1980. 8. 10
- 西 三郎：日野市の新しい地域医療運動によせて. 3-9, 池上洋通『燃えさかれ, いのちの火』自治体研究社, 東京, 1980. 7. 15
- 西 三郎：高齢者の健康と医療制度. 133-165, 松原治郎編『日本型高齢化社会』, 有斐閣, 1981. 10. 1
- 西 三郎：国民の疾患構造と最近の変化. 85-98, 菅谷 章編『現代の医療問題』, 有斐閣, 1981.
- 西 三郎：保健活動と保健所. 187-195, 菅谷 章編『現代の医療問題』, 有斐閣, 1981.
- 西 三郎：国民医療費. 47-51, 健康保健組合連合会編『社会保障年鑑1981年版』, 東洋経済社, 東京, 1981. 3. 30
- 西 三郎：保健所における地域保健医療政策の展開, 88-95, 『地域医療Ⅲ』, 1-124, 新日本医学出版社, 東京, 1981. 5. 11. 1. 24.
- 西 三郎：国民医療費. 50-58, 健康保険組合連合会編『社会保障年鑑1982年版』, 東洋経済社, 東京, 1982. 3. 30
- 西 三郎：二つの顔をもつ知事—結核行政における行政権と裁量—, 220-231, 一柏園事件記録編集委員会『碧海のサナトリウムでなにかが』, 労働旬報社, 東京, 1982. 1. 25
- 西 三郎：老人保健法と地域保健. 84-90, 全国社会福祉協議会編『老人福祉年報1983』, 全国社会福祉協議会, 東京, 1983. 8. 20
- 西 三郎：健康教室のすすめ方. 57-123, 健康・体力づくり事業団編『健康教育の展開』, 財団法人健康・体力づくり事業財団, 東京, 1983. 3.
- 西 三郎：医療の発展と変貌. 2-56, 唄孝一編『医療と法と倫理』, 岩波書店, 東京, 1983. 9. 16
- 西 三郎：医療制度. 1034-1039, 金森久雄, 篠原三代平他編『日本経済事典』, 日本経済新聞社, 東京, 1981. 4. 17.
- 西 三郎：公衆衛生と社会福祉. 350-354, 社会保障運動史編集委員会編『社会保障運動全史』, 労働旬報社, 東京, 1982.

- 西 三郎：日本の医療制度. 154-139, 加藤一郎・森島昭夫編『医療と人権』, 有斐閣, 東京, 1984. 9. 5
- 西 三郎：地域保健医療活動の計画立案（策定）とその展開. 131-152, 青山英康編『明日の医療② 地域医療』, 中央法規出版, 東京, 1984. 10. 1
- 西 三郎：医療改革の方向. 66-89, 大熊一郎・地主重美編『福祉社会への選択』, 勁草書房, 東京, 1984. 11. 30
- 西 三郎：医療制度の欠陥. 87-110, 江見康一編『明日の医療④ 医療経済』, 中央法規出版, 東京, 1984. 12. 1
- 西 三郎：医療供給の周辺体制の整備. 220-244, 江見康一編『明日の医療④ 医療経済』, 中央法規出版, 東京, 1984. 12. 1
- 西 三郎：生と死<コメント>. 511-519, 唄孝一編『医療と法と倫理』, 岩波書店, 東京, 1983. 9. 16
- 西 三郎：これからの老人処遇をめぐって. 174-194, 大森医師会編『続・健やかに老いる』, 人間と歴史社, 東京, 1984. 12. 25
- 西 三郎：わが国における医師対策の問題点と解決の方向. 23-25, 『へき地医療の現状と対策（第四編）』, 社団法人 全国自治体病院協議会, 東京, 1984.
- 西 三郎：地域保健計画と活動手順. 162-172, 湯沢布矢子編『保健婦のための保健活動の進め方』, 新企画出版社, 東京, 1985. 1. 10.
- 西 三郎：マンパワー. 123-133, 湯沢布矢子編『保健婦のための保健活動の進め方』, 新企画出版社, 東京, 1985. 1. 10.
- 西 三郎・藤咲 進・大谷藤郎・佐野正人：Forum 我が国の医師数の現状と将来を語る. 349-376, 阿部正和編『明日の医療 ⑥ 医学教育』, 中央法規出版社, 東京, 1985. 2. 1
- 西 三郎：衛生の行政の管理と運営. 45-61, 橋本正己編著代表『衛生行政大要改訂第12版』, 日本公衆衛生協会, 東京, 1985. 3. 20
- 西 三郎：在宅難病患者の保健指導と保健婦への期待. 135-145, 死乃生・木下安子編集『難病と保健活動』, 1-197, 医学書院, 東京, 1985. 8. 1.
- 西 三郎：医療と福祉の政策の合理化と体系化. 293-305, 社会保障研究所編

『医療システム論』, 東京大学出版会, 東京, 1985. 11. 15

- 西 三郎: 法令解説 [昭和60年1月~12月]. 235(33)-235(35), 日本医事法学会編, 『年報 医事法学1』, 1-269, 日本評論社, 東京, 1986. 6. 1
- 西 三郎: 医師・患者関係の残された課題. 305-315, 日本医事法学会編『医事法学叢書1』, 1-350, 日本評論社, 東京, 1986. 7. 1.
- 西 三郎: 序章医療の制度と保障. 3-8, 日本医事法学会編『医事法学叢書4』, 日本評論社, 東京, 1986. 9. 10.
- 西 三郎: 「健康権」を提唱する. 9-17, 日本医事法学会編『医事法学叢書4』, 日本評論社, 東京, 1986. 9. 10.
- 西 三郎, 星 旦二: 在宅ケアにおける専門職の責任 施設での医療と在宅ケアの違い, 233-241, 島内 節・川村佐知子編『在宅ケア』文光堂, 東京, 1986. 9. 13.
- 西 三郎: 開業医制度・・・この独自なるもの. 84-89, メディカルフレンド社編『日本の医療の行く手を読む』, メディカルフレンド社, 東京, 1986. 10. 25.
- 西 三郎: 三鷹市保健審議会. 154-155, 三鷹市医師会編集委員会編集『社団法人 三鷹市医師会』1-311, 三鷹市医師会, 東京, 1986. 12. 20.
- 西 三郎: 第3章 衛生行政の管理と運営. 44-61. 橋本正己編著者代表『衛生行政大要 改訂第13版』, 日本公衆衛生協会, 東京, 1987. 3. 20.
- 西 三郎: 三鷹市医師会の在宅ケアの確立に果たした役割. 32-39, 三鷹医師会編『難病検診の意義とその役割』, 有斐閣, 東京, 1987. 4. 1.
- 西 三郎: 難病の地域ケアシステムの確立とその事例. 207-219, 三鷹医師会編『難病検診の意義とその役割』, 有斐閣, 東京, 1987. 4. 1.
- 西 三郎: 地域保健計画と活動手順. 153-190, 湯沢布矢子編『保健婦のための保健活動の進め方 改訂版』, 1-451, 新企画出版社, 東京, 1987. 7. 15.
- 西 三郎: マンパワー. 142-152, 湯沢布矢子編『保健婦のための保健活動の進め方 改訂版』, 1-451, 新企画出版社, 東京, 1987. 7. 15.
- 西 三郎: 法令解説 [昭和61年1月~12月]. 183(49)-182(50). 日本医事法学

会編、『年報 医事法学 2』, 1-232, 日本評論社, 東京, 1987. 6. 1.

西 三郎：保健医療関連職種とその資格条件. 395-407. 田中恒男, 小林富美栄, 内田靖子編『公衆衛生看護ノート II改訂第3版』, 1-559, 日本看護協会出版, 東京, 1988. 3

西 三郎：衛生行政の財政. 447-479. 田中恒男, 小林富美栄, 内田靖子編『公衆衛生看護ノート II改訂第3版』, 1-559, 日本看護協会出版, 東京, 1988. 3

西 三郎：衛生統計と健康指標. 519-545, 田中恒男・小林富美栄・内田靖子編『公衆衛生看護ノート II改訂第3版』, 日本看護協会出版部, 東京, 1988. 3

西 三郎：法令解説 [昭和62年1月～12月]. 178(46)-177(47). 日本医事法学会編、『年報 医事法学 3』, 1-224, 日本評論社, 東京, 1988. 6. 30

西 三郎, 宇都木伸：シンポジウム「継続医療を必要とする老人をめぐる諸問題」はじめに—問題の所在. 50-53, 日本医事法学会編『年報 医事法学 3』, 1-224, 日本評論社, 東京, 1988. 6. 30.

西 三郎：保健・医療・福祉体系. 426-433. 相澤豊三・村上元孝監修, 勝沼英宇・長谷川恒雄編集『老人の診療 —その特性と周辺—』, 1-489, 南山堂, 東京, 1988. 7. 20.

西 三郎：医療（保健）福祉と法. 316-339, 佐藤 進編『現代社会福祉法入門』, 1-361, 法律と文化社, 京都, 1989. 2. 20.

新井宏明, 西 三郎, 岩崎 清：地域組織活動. 69-87. 新井宏明, 多田 学, 多田羅浩三, 鏡森定信, 中島紀恵編集『脳卒中・寝たきり・痴ほうの地域ケア』, 1-116, 日本公衆衛生協会, 東京, 1989. 2. 20.

西 三郎：第3章 衛生行政の管理と運営. 41-58. 橋本正己編著者代表『衛生行政大要 改訂第14版』, 日本公衆衛生協会, 1-361, 東京, 1989. 2. 28.

西 三郎：第1部 地域における難病対策のすすめ方 第1章 地域の難病対策機構. 2-21. 重松逸造監修, 松野かほる, 西 三郎, 木下安子編集『難病への取り組みと展望』, 1-185, 日本公衆衛生協会, 東京, 1989.

2. 28.

- 西 三郎：第1部 地域における難病対策のすすめ方 第4章 難病対策機構の研究成果とその発展. 58-66. 重松逸造監修, 松野かほる, 西 三郎, 木下安子編集『難病への取り組みと展望』, 1-185, 日本公衆衛生協会, 東京, 1989. 2. 28.
- 松野かほる, 島内 節, 木下安子, 川村佐和子, 西 三郎：第2部 難病患者に対する保健指導 第1章 難病患者に共通する保健指導. 67-85. 重松逸造監修, 松野かほる, 西 三郎, 木下安子編集『難病への取り組みと展望』, 1-185 日本公衆衛生協会, 東京, 1989. 2. 28.
- 西 三郎：新宿区難病検診のこれからの課題 —保健と医療と福祉の連携なくして難病患者の在宅ケアはできない. 102-111. 新宿区医師会・新宿編『検診から在宅ケア 難病医療 —新宿区神経難病10年のあゆみ—』, 1-136, 新宿区医師会, 東京, 1989. 6. 25.
- 西 三郎：法令解説 [昭和62年1月~12月]. 178(46)-177(47). 日本医事法学会編, 『年報 医事法学4』, 1-208, 日本評論社, 東京, 1989. 7. 25.
- 西 三郎：継続医療の討議における残された課題. 71-79. 日本医事法学会編, 『年報 医事法学4』, 1-208, 日本評論社, 東京, 1989. 7. 25.
- 西 三郎：第一章 医療の世界的潮流と日本の実情. 1-33. 民間病院問題研究所編『民病研フォーラム'88報告書 超高齢化時代の病院経営 これからどうなる, どうする—私的病院医院の活動と拡大戦略』民間病院問題研究所, 1-222, 1989. 3. 31
- 西 三郎：健康の維持・増進ヘルス・ケア・サービス. 217-228. 西武百貨店池袋コミュニティ・カレッジ, 流通産業研究所編『ウエルネス・ビジョンエスの発想』ダイヤモンド社, 1-239, 東京, 1989. 10. 5.
- 西 三郎：ニューライフ健康づくりやまびこ運動事業. 128. 全国いきいき公衆衛生の会 編著『いきいき公衆衛生シリーズ第1巻 今, いきいきとした公衆衛生活動のために』社会保険出版社, 1-157, 東京, 1989. 10. 20.
- 西 三郎：住民とともに地域福祉をめざして. 7-32. 自治労福生市職員組合編

集『そして、青い空 いのちとくらしを大事にするまちに 第2集』

自治労福生市職員組合, 1-115, 東京, 1989. 10. 25

西 三郎：医療制度. 社会保障・社会福祉事典 全一卷, 労働旬報社, 東京, 1989. 11. 25.

雑 誌

西 三郎：経済計画における医療計画の問題点. 季刊社会保障研究, 8(4):12-26, 1973.

西 三郎：医療施設の現状と問題点. ジュリスト, 548:14-17, 1973.

西 三郎：「健康権」を提唱する. ジュリスト, 583:16-18, 1973.

西 三郎：公衆衛生からみた「くすり」と健康権. 法律時報, 534:42-46, 1973.

西 三郎：健康権に関する権利規定(1)-(10). 公衆衛生, 37(1)-(10), 1973.

西 三郎：看護は病院に限られるものではない. 季刊社会保障研究, 10(1):34-39, 1974.

西 三郎：医療費配分の新しい方向. 病院, 34(1):37-41, 1975

西 三郎：特集 地域医療システマー 80年代のために地域医療システムの組織論—行政の立場から—. 日本臨床, 33(8):7-11, 1975.

西 三郎：老人医療計画と問題点. 日本老年医学会誌, 13(2):85-88, 1976.

西 三郎：予防接種と衛生行政. ジュリスト, 619:71-77, 1976.

西 三郎：衛生統計体系の方向. 厚生の指標, 23(2):21-25, 1976.

西 三郎：保健計画におけるニードとデマンド. 公衆衛生, 40(5):304-309, 1976.

辻 正重・西 三郎：システム ダイナックスによる医師および看護婦数の動態分析. 日本公衆衛生雑誌, 24(7):453-461, 1977.

辻 正重・西 三郎：医療政策の財政への影響. 日本公衆衛生雑誌, 25(11):624-632, 1978.

西 三郎：医療供給システムの再編成. 病院, 38(11):28-33, 1979.

西 三郎：日本の病院の特質. 季刊社会保障研究, 15(2):2-20, 1979.

西 三郎：地域医療計画. 第20回日本医学会総会誌：2075-2080, 1979.

- 西 三郎：社会と健康. 環境情報科学, 8(3):46-57, 1979.
- 西 三郎：国民医療費増大の要因と医療問題. 賃金と社会保障, 733:11-21, 1979.
- 西 三郎：日本の病院の特質. 季刊社会保障研究, 15(2):1-20, 1979
- 西 三郎：これからの病院と診療所—プライマリ・ケアの実現をめざして—. 社会保険旬報1274:13-18, 1979.
- 西 三郎：保険制度内の長期透析. 日本臨床, 38(6):174-182, 1980.
- 西 三郎：国と自治体の保健・医療政策と地域の保険医療の動向. 医学評論, (64):24-27, 1980.
- 西 三郎：保険制度内の維持透析. 日本臨床, 39 (特別号) :531-548, 1981.
- 中村 努・村田欣造・西 三郎：三鷹市における神経難病検診と地域ケア. 日本プライマリケア学会誌, 4(4):351-353, 1982.
- 西 三郎：専門医, 開業医はきずなを強め患者, 市民との対話を深めよ. 日経メディカル, 134:146-151, 1982. 西 三郎：都市における地域医療の展開. 社会保険旬報, 1382:4-9, 1982.
- Saburo NISHI: National Health Development Plan in Japan and its Problems. 公衆衛生研究報告, 31(1):45-52, 1982
- 西 三郎：実践をふまえた地域医療の将来. 高崎医学. 32:9-14, 1982.
- 西 三郎：「医療サービスの効率化」についての考察. 季刊社会保障研究, 18(3):380-384, 1982.
- 西 三郎：患者と医師に発想のズレ. モダンメディシン. 11(6):63-65, 1982.
- 山田宏樹, 西 三郎：まだ十分でない連携プレー. モダンメディシン. 11(6):66-68, 1982.
- 西 三郎：プライマリ・ケアに関する医学教育改革の鍵穴. 医療研究レポート, (2):1-13, 1982.
- 西 三郎：医師とともにまちづくりの運動を. 三多摩の保健と医療, 5:3-21, 1982.
- 西 三郎：医療保険. ファイルマシア, 19(7):679-686, 1983.
- 西 三郎：地域医療と供給システム. 健康保険, 37(3):18-27, 1983.

- 西 三郎：保健所における電子計算機の導入。医療情報学, 13(2):36-37, 1983.
- 西 三郎：福祉政策のゆくえと厚生省。法学セミナー増刊／官庁と官僚:64-72, 1983.
- 西 三郎：老人医療の包括システム化。日本臨床, 41(10):2341-2345, 1983.
- 西 三郎：地域保健におけるコンピュータ利用の現状と将来。公衆衛生, 47(12):819-833, 1983.
- 西 三郎：地域医療と供給システム。健康保険, 37(3):3-27, 1983.
- 西 三郎：在宅ケアにおける法的諸問題。地域保健, 14(11):57-65, 1983.
- 西 三郎：国民の望む検診と予防活動。月刊保団連190号:30-40, 1983.
- 西 三郎：地域で医療文化を明らかに。大阪保険医雑誌, 11(4), 6, 1983.
- 西 三郎：衛生行政の転機としての老人保健法。日本公衆衛生学雑誌, 30(11):81, 1983.
- 西 三郎：高齢化社会における医療需要の増大と供給の対応。薬局と調剤21:7-10, 1983.
- 西 三郎：老人保健法とこれからの老人医療を中心に。モダンメディシン・セミナー, これからの老人医療, 朝日新聞, 59-74, 1983.
- 西 三郎：在宅医療と施設医療。からだの科学, 115:9-14, 1984.
- 西 三郎：新しい医療実践の時。社会保険旬報, 1453:21, 1984.
- 西 三郎：高齢化社会における地域住民の対する健康教育のすすめ方について。ほすび たる, 319:1-9, 1984.
- 西 三郎：2000年までにすべての人々に健康を。めだか通信, 1:
- 西 三郎：脳死の論議に「ヒト」と「人」との区分を, 人間の医学, 20(3):13-15, 1984.
- 西 三郎：医療と保健の将来。週間社会保障, 38(1284):14-17, 1984.
- 西 三郎：公衆衛生の研究・教育・実践。公衆衛生, 48(1):4-8, 1984. 1. 15.
- 西 三郎：今後の日医に注文する。社会保険旬報, 1464:14-19, 1984. 4. 11.
- 西 三郎：医療関係制度をめぐる現状と諸問題。賃金と社会保障, 887, 17-21, 1984.

- 西 三郎：都市近郊型のプライマリ・ケア。クリニカ，11(5):332-335，1984. 5.
- 西 三郎：医療の危機からの開放を。新しい地域医療をもとめて，第6号 ー 日野市難病レポート'84ー，16-20.1984.6.17.
- 西 三郎：予防接種判決と衛生行政。ジュリスト，820:22-27，1984.9.1.
- 西 三郎：公衆衛生学初代教授予定であられた曾田長宗先生のご逝去を悼む。千葉大学医学部公衆衛生学教室同門会報，第3号，2-3，1984.9.1.
- 西 三郎：医療サービスを考える。自治研修，294:11-19，1984.10.
- 西 三郎：無題 プライマリ・ケア，10:4.1987.10.
- 西 三郎：医療費予測モデル：国民医療費研究グループ，厚生指標，32(12): 9-24，1984.10.
- 西 三郎：書評 朝倉新太郎著作集。新しい医師：1020，3，1984.8.1.
- 西 三郎：医療経済の立場から。柱ⅢS-3 現行医療制度諸問題と将来，第21 会日本医学会総会，大阪，1983.4.8.
- 西 三郎：老人保健法による地域の老人保健の現状と問題点。ゆたかなくらし，通巻25:86-89. 1984.
- 西 三郎：良いホームドクターを地域で育てるために。医療経営情報1(1):16-23，1984.
- 西 三郎：医療関係制度をめぐる現状と諸問題。労働旬報 30-34，1984
- 西 三郎：公衆衛生から見た日本の未来医療。未来医学，2:36-41，1986.6.5.
- 西 三郎：医用機器アワー「医療とME」。日本短波放送，1985.6. 20:25 ~20:40
- 西 三郎：ニューメディア時代の公衆衛生。第12回山形県公衆衛生学会特別講演，山形1985.2.21.
- 西 三郎：老後の医療保障と老人保健活動。第14回日本老年学会特別講演，東京，1985.9.29.
- 西 三郎：医学校における日米の比較。第44回日本公衆衛生学会，富山，1985. 10.17.
- 西 三郎：社会指標における健康指標とその内容。日本健康科学会 第1回学

術大会, 東京, 1985. 11. 1.

- 西 三郎: 「健康権」の提唱とその意義. 日本健康科学会 第1回学術大会, 東京, 1985. 11. 2.
- 西 三郎: 高齢化社会における新しい医療福祉の課題. 第8回 日本計画行政学会, 仙台, 1985. 11. 10.
- 西 三郎: 医療情報のシステム化とその展開. 月刊薬事 27巻: 57~62, 1985.
- 西 三郎: 病歴データの標準化とプライバシー保護. 医療情報学 5巻: 75~80, 1985.
- 西 三郎: 保健所の現状と課題. 都市問題研究 37巻: 59~72, 1985.
- 西 三郎: 産業講座・日米産業比較 医療. 日本経済研究センター会報 492号: 45~51, 1985.
- 西 三郎: 保険制度内の維持透析. 日本臨床 39巻特別号: 531~548, 1985.
- 西 三郎: 大都市の医療体制. ジュリスト増刊総合特集 通巻40号: 165~169, 1985.
- 西 三郎: 「東京宣言」と医療制度の基盤としての地域社会. 保健の科学 27巻: 732~735, 1985.
- 西 三郎: 医療社会のコンピュータ化とプライバシー侵害の可能性. 看護展望 10巻: 13~19, 1985.
- 西 三郎: 国と自治体の責任. 84-91, ジュリスト増刊総合特集 日本の医療—これから, No.44, 1986. 9. 2. 5
- 西 三郎: 62年度の老人の保健・福祉をめぐる行政の動向. ホームヘルパー, 61年12月62年1月合併号, 180, 3-9, 1987. 1. 15.
- 西 三郎: どうして今ボランティアが論じられるのか. ボランティア広場, 13, 1, 1987. 3. 30.
- 西 三郎: 社会の営みとしての医療資源の確保. カプセル, 21, 14-19, 1987. 4.
- 西 三郎: 長寿社会に向けて厚生省の責任が見えない厚生白書. 新医協, 1, 1987.

- 西 三郎：地方自治体における保健計画策定とその体系についての一考察. 東京都立大学人文学部『人文学報』194, 41-56, 1987. 3.
- 西 三郎：看護の専門性確立を期待して, 社会保険旬報, 1586, 15-17, 1987. 8. 1
- 西 三郎：公衆衛生と住宅. 季刊社会保障研究, 23(2), 221-226. 1987. 9.
- 大貫 稔, 西 三郎, 鈴木 荘一, 丸地信弘, 竹内雅夫, 前澤政次, 木下安子, 小松 真, 川村佐和子：わが国における在宅ケア制度—その現状と将来展望—. 日本プライマリ・ケア学会誌, 10(3), 173-182, 1987. 9.
- 西 三郎：有識者として看護職への期待と批判—社会へ“看護”を示すには. 看護, 39(12), 43-49. 1987. 11.
- 渡辺 敏, 川村佐和子, 穴戸輝男, 季羽倭文子, 西 三郎, 斎藤豊和：在宅人工呼吸療法の実況と問題点. 医科器機学57(12), 5498-560. 1987. 12.
- 西 三郎：血液透析実態調査とその意義, 社会医学研究, 1987特別号, 50, 1987. 7. 25.
- 西 三郎：三鷹市難病検診の意義と役割, 社会医学研究, 1987特別号, 58, 1987. 7. 25.
- 西 三郎：国民健康づくり計画モデル事業とその評価, 社会医学研究, 1987特別号, 62, 1987. 7. 25.
- 西 三郎：看護料の基本的考え方と問題. 看護展望, 13(1), 17-22, 1988. 1.
- 西 三郎：保健と医療と福祉の連携に向けて医療における固有の課題と展望. 人文学報, No.202, 47-65, 1988. 3.
- 西 三郎：保健医療体制の推移と歯科医療の未来. 歯界展望（臨時増刊）71(3), 704-707, 1988. 2.
- 西 三郎・川村佐和子：継続医療を必要とする患者の退院の基準に関する医事法学的考察. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第11巻・臨時増刊, 80. 1988. 5. 25.
- 川村佐和子・中村 務・西 三郎他：三鷹市における在宅ケア環境に関する課題. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第11巻・臨時増刊, 92. 1989. 5. 25.
- 高木克芳, 中村 務・西 三郎・川村佐和子他：三鷹市に置ける在宅ケアの現

- 状と今後の課題. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第11巻・臨時増刊, 92, 1989. 5. 25.
- 西 三郎: 衛生行政の基本とその考察. 公衆衛生, 52(8), 551-554, 1988. 8. 15.
- 西 三郎: 総合シンポジウム「公衆衛生における情報の役割」I. はじめに—情報機器の利用とその発展—. 日本公衆衛生学雑誌, 35(8), 41-45, 1988. 8. 15.
- 西 三郎・鈴木恵三・佐藤: 保健所におけるコンピューターを用いた保健活動支援システム. 日本公衆衛生学雑誌, 35(8), 3283, 1988. 8. 15.
- 西 三郎: 開業医への期待とそれにえるために. 社会保険旬報, No.1633, 11-15, 1988. 11. 11.
- 西 三郎: 年3万人の准婦を養成しながら制度一本化は実現できるか. ナースアイ, 通巻3号, 91-96, 1989. 1.
- 西 三郎: 潮流 医学の限界と医師個人の限界とを区別して説明を. フェイズ3 通巻53号, 9, 1989. 1.
- 西 三郎: 潮流 高齢者に先が見え, 安心して夢がもてる施策を. フェイズ3 通巻54号, 9, 1989. 2.
- 西 三郎: 潮流 医療施設に寄付する習慣を社会に広めよう. フェイズ3 通巻55号, 9, 1989. 3.
- 西 三郎: 潮流 市民不在の大病院移転計画と反対運動. フェイズ3 通巻56号, 9, 1989. 4.
- 西 三郎: 潮流 時代の流れを汲んだ人の限界とを区別して説明を. フェイズ3 通巻57号, 9, 1989. 5.
- 西 三郎: 医療改革論議の前に, いま患者は. 社会保険旬報 No.1652, 6-10, 1989. 5. 21.
- 西 三郎・立井宗興: 在宅入浴サービスの現状と基準づくり. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第12巻・臨時増刊, 184, 1989. 5. 25.
- 西 三郎・立井宗興: 入浴介護の課題と効用. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第12巻・臨時増刊, 187, 1989. 5. 25.

- 西 三郎・広瀬和彦：筋萎縮性側索硬化症患者の人工呼吸器装着後の予後. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第12巻・臨時増刊, 204, 1989. 5. 25.
- 西 三郎：筋萎縮性側索硬化症患者数と必要医療関係者数の推計. 日本プライマリー・ケア学会誌, 第12巻・臨時増刊, 204, 1989. 5. 25.
- 西 三郎：日本プライマリー・ケア学会誌, 第12巻・臨時増刊, 1989. 5. 25.
- 西 三郎：潮流 病診連携と称する誤った病院開放. フェイズ3 通巻58号, 9, 1989. 6.
- 西 三郎：インフルエンザ予防接種禍事件. 別冊ジュリスト 第102号 医療過誤判例百選, 20, 102号, 1989. 6.
- 西 三郎：在宅ケアの充実よりは長期療養施設の整備を 誰が在宅ケア・地域ケアを支えるのか. 月刊民病研, 通巻19号, 1, 1989. 6.
- 西 三郎：貧しく幸せな生活の北欧. ECO-FORUM 統計研究会ニュース, Vol.8 No.2, 1989. 7.
- 西 三郎：結論先行, 論理性に欠ける報告書. 生活教育, 臨時増刊, 33巻8号, 42-43, 1989. 7.
- 西 三郎：潮流 個々の医療を公開し検討できる体制を. フェイズ3 通巻59号, 9, 1989. 7.
- 西 三郎：潮流 患者サービスの改善よりも不当表示の医療の排除を. フェイズ3 通巻60号, 9, 1989. 8.
- 西 三郎：今, 地域保健・医療は・・・ 一憲法にある「公衆衛生」を守るには一. 社会医学研究, 第8号, 121-127, 1989. 8.
- 西 三郎：エイズで考えるもの 人権・法制の面から. からだの科学臨時増刊 エイズ戦略, 169-172, 1989. 8.
- 西 三郎：住民に依拠した保健所への脱皮を. 新医協, 号外, 1989年8月31日号, 10-14頁, 1989. 9.
- 西 三郎：社会福祉のデータベース化で満足するのは誰だろう. 福祉展望, 8号, 88-8, 1989. 9.
- 西 三郎：行政のなかの保健婦. 保健婦雑誌, 45巻9号, 7-12, 1989. 9.
- 西 三郎：「在宅ケア」その問題点をさぐる. 日本プライマリー・ケア学会誌,

- プライマリー・ケア, 第12巻3号, 214-220, 1989.9.10.
- 西 三郎: 潮流 先端医学の開発とともに, 適正な医療技術の普及向上のためへの努力を。フェイズ3 通巻61号, 9, 1989.9.10.
- 西 三郎: 行政のなかなかの保健婦. 保健婦雑誌, 45(9), 713-718, 1989.9.10
- 西 三郎: 『高齢化社会と老人医療』(在宅ケアを本気ですすめるために). 日本医事新報, 3412号, 106-108頁, 1989年9月16日号, 1989.9.16.
- 西 三郎: 潮流 医学の限界と医師個人の限界とを区別して説明を。フェイズ3 通巻62号, 9, 1989.10.10.
- 本橋 豊, 西 三郎: システムダイナミクス(SDS)を用いた人工透析患者の将来予測. 日本透析医会雑誌, 5巻2号, 51-70, 1989.10.
- 西 三郎: 新日本医師協会東京支部'89年度のまとめと'90年度の活動 医学教育. 新医協号外, 15, 1989.10.
- 本橋 豊, 西 三郎: システムダイナミクスモデルを用いた人工透析患者数の将来予測. 日本公衆衛生学雑誌, 36(10), 6, 1989.10.15.
- 西 三郎: 県の基本構想・基本計画における保健所の位置づけ. 日本公衆衛生学雑誌, 36(10)152, 1989.10.15.
- 前田博明・星 旦二・西 三郎: 保健所運営費の一般交付税化と地方自治体衛生行政の主体性. 日本公衆衛生学雑誌, 36(10), 206, 1989.10.15.
- 西 三郎: 不可避な医療のシステム化 自分の病院が担当できる診療機能を明確に. 月刊民病研, 通巻24号, 1, 1989.11.
- 西 三郎: 潮流 高齢者に先が見え, 安心して夢が持てる施策を。フェイズ3 通巻63号, 9, 1989.11.
- 西 三郎: 潮流 災害対策のために救急隊員の権限拡大と必要な養成訓練を。フェイズ3 通巻64号, 9, 1989.12.
- 西 三郎: 期待と可能性あふれる在宅ケア. 一人一人の療養生活を保障する自治体に. ナースアイ, 通巻14号, 10-15, 1989.12.
- 西 三郎: 潮流 先端医学の開発とともに, 適正な医療技術の普及向上のためへの努力を。フェイズ3 通巻65号, 9, 1990.1.
- 西 三郎: 地域医療と福祉計画. 季刊社会保障研究, 25(3):225-235, 1989.12.

窪田暁子教授 略歴

1. 学 歴

- 昭. 19. 3 茨城県立水戸高等女学校卒業
 昭. 19. 4 東京女子高等師範学校（現・お茶の水女子大学）入学
 昭. 23. 3 同校卒業
 昭. 27. 9～28. 6 米国ニュージャージー州立ラトガース大学選科生（社会学及び社会心理学）
 昭. 28. 9 同ミネソタ州立大学大学院社会事業学校入学
 昭. 29. 6 同1年課程修了

2. 職 歴

- 昭. 23. 4 日本キリスト教女子青年会職員（～昭. 24. 3 教育研究室幹事補、昭. 24. 4～26. 3 東京京都墨田区立第二寺島小学校教諭に出向、昭. 27. 7～昭. 29. 8 職員養成奨学金により留学、昭. 29. 8～学生部責任幹事）
 昭. 36. 3 同会退職
 昭. 36. 4～38. 3 社会福祉法人横須賀基督教社会館職員（グループワーク スーパーバイザー）
 昭. 38. 3～43. 3 神奈川県職員（衛生部所属、神奈川県立せりがや園精神科ソーシャルワーカー）
 昭. 43. 4 日本福祉大学社会福祉学部助教授
 昭. 52. 4～57. 9 同教授
 昭. 57. 9～平. 1. 3 東京都立大学人文学部教授（社会福祉方法論）
 平. 1. 4 東洋大学社会学部教授（現在に至る）

（兼 職）

- 昭. 38. 4～43. 3 大正大学文学部及び日本社会事業大学非常勤講師（社会福祉方法論）
 昭. 43. 4～46. 4 東京大学医学部保健学科精神衛生講座研究員
 昭. 50. 4～55. 3 東京都立梅丘病院技術顧問
 昭. 55. 4～57. 9 愛知県精神衛生センター嘱託
 昭. 58. 10～59. 3 茨城大学教育学部非常勤講師（障害者福祉論）

昭. 59. 4 ~ 平. 1. 3 東京女子大学文理学部非常勤講師 (社会学特講)

昭. 61年度及び63年度 日本女子大学大学院社会福祉学研究科非常勤講師 (医療ソーシャルワーク)

3. 学会及び社会的活動

昭. 35~ 日本社会福祉学会会員 (昭46-52、55-61、平1 - 同理事)

昭. 38~ 日本精神神経学会会員

昭. 43~ 日本アルコール医学会会員

昭. 46~ 病院・地域精神医学会会員

昭. 61~ 日本学術会議社会保障・社会福祉研究連絡委員会委員

窪田暁子教授 業績目録

1 著書

日本の児童福祉	共著	昭和39年4月	ドメス出版
戦後日本の社会事業	共著	昭和42年2月	勁草書房
心理療法	共著	昭和42年8月	誠心書房
社会福祉論	共著	昭和43年1月	有斐閣
子どもの生活圏	共著	昭和44年4月	NHKブックス
グループワーク	単著	昭和44年8月	誠心書房
集団心理療法	共著	昭和44年11月	金子書房
社会事業に生きた女性たち	共著	昭和48年	ドメス出版
児童福祉論	共著	昭和49年11月	有斐閣
少年非行	共著	昭和50年9月	ミネルヴァ書房
社会福祉論 [新版]	共著	昭和50年11月	有斐閣
児童政策	共著	昭和51年1月	ミネルヴァ書房
社会福祉の明日を	共著	昭和54年4月	ミネルヴァ書房
続社会事業に生きた女性たち	共著	昭和55年	ドメス出版
社会福祉実践の基礎	共著	昭和56年9月	有斐閣
続々社会事業に生きた女性たち	共著	昭和60年	ドメス出版
在宅福祉への指標	共著	昭和60年12月	東京都社会福祉協議会
トヨタと地域社会	共著	昭和62年1月	大月書店
私達とお酒のつきあい	共著	昭和62年4月	C I A P 出版
都市と農村の福祉	共著	昭和63年	中央法規出版

II 論文

治療的社会クラブ	共著	昭和35年11月	精神衛生研究No.9
アメリカにおけるソー シャルグループワークの成立	単著	昭和36年11月	社会事業研究Vol.1, No.1
児童福祉施設としての母子寮	単著	昭和37年5月	生活と福祉37年5月号
薬物嗜癖者の病棟内集団の分析	単著	昭和40年3月	神奈川県医療社会事業研究事例集

- プロバリン中毒者の心理
社会的考察 共著 昭和40年12月 せりがや園紀要第2集
- 医療ソーシャルワーカー
の機能について 共著 昭和41年11月 社会福祉学11号
- アルコール中毒の治療に
おける治療的集団活動 共著 昭和41年12月 せりがや園紀要第3集
- 病院ソーシャルワーカー
からみたアルコール
中毒者の問題 単著 昭和43年6月 社会福祉研究第2号
- 田浦地区の児童福祉基礎調査
社会福祉の「方法」を
めぐって 共著 昭和43年9月 田浦地区児童福祉研究会
- 戦後の母子保健・母子福祉 単著 昭和45年1月 福祉研究No.22
- 貧困家庭へのアプローチ
社会福祉理論の再検討 単著 昭和46年11月 日本福祉大学社会福祉研究所
年報No.4
- フローレンス・
ケリーを読んで 単著 昭和47年12月 地域保健 47年12月号
- 母子保健・母子福祉の
現状と課題 単著 昭和48年3月 社会事業研究No.12
- アメリカにおける
グループワーク 単著 昭和48年4月 福祉大学評論No.12
- 主要文献1930-1955 単著 昭和48年6月 ジュリスト総合特集No.537
- ポーランドの障害者
コーポラティブ 単著 昭和48年10月 社会事業史研究No.1
- 社会福祉の方法・技術を
考える 共著 昭和52年7月 障害者問題研究No.8
- 地域福祉問題研究の視角
と方法 単著 昭和54年3月 福祉研究No.40
- 精神科領域における
小集団活動 単著 昭和56年5月 社会福祉学第22-1号
- 社会福祉援助の内容と方法 単著 昭和56年11月 精神医学ソーシャルワーク
No.20
- 社会福祉を学ぶ学生達 単著 昭和58年10月 第17回公的扶助研究全国セミ
ナー報告書
- 社会福祉を学ぶ学生達 単著 昭和59年6月 月刊福祉昭和59年6月号

戦後社会福祉施設の

研究：戦後再建時の

遺産と課題

単著 昭和60年3月 人文学報No.179

社会福祉方法論の

今日的課題

単著 昭和60年8月 第10回児相研セミナー報告書

「母子世帯問題」の

今日的性格

単著 昭和60年11月 生活問題研究創刊号

若い母親の出産と育児

単著 昭和61年11月 生活問題研究第2号

災害後の生活再建

単著 昭和62年3月 人文学報No.194

アルコール問題と

ソーシャルワーカー

単著 昭和62年5月 アルコール医療研究Vol.4
No.2

慈善事業施設の創立を

担った女性たち

単著 昭和63年3月 人文学報No.202

在宅福祉サービスとして

の家事援助

単著 平成元年11月 ホームヘルパーNo.209

III その他

職業としての社会福祉

共著 昭和51年3月 日本福祉大学

日本児童問題文献選集12

共著 昭和58年6月 日本図書センター

日本児童問題文献選集16

共著 昭和59年4月 日本図書センター

酒害対策懇談会の歩み

アルコール症の地域ネッ

トワークづくりの実践

共著 昭和60年2月 高槻酒害対策懇談会

戦前期社会事業史料

集成第17巻

共著 昭和60年9月 日本図書センター

書評「地域福祉の思想

と実践」

単著 昭和62年1月 月刊福祉

講演記録：

障害をもつ女性の生活

単著 昭和60年3月 東京都立大学公開講座記録

翻訳「非行少女の心理」

共著 昭和45年5月 新書館

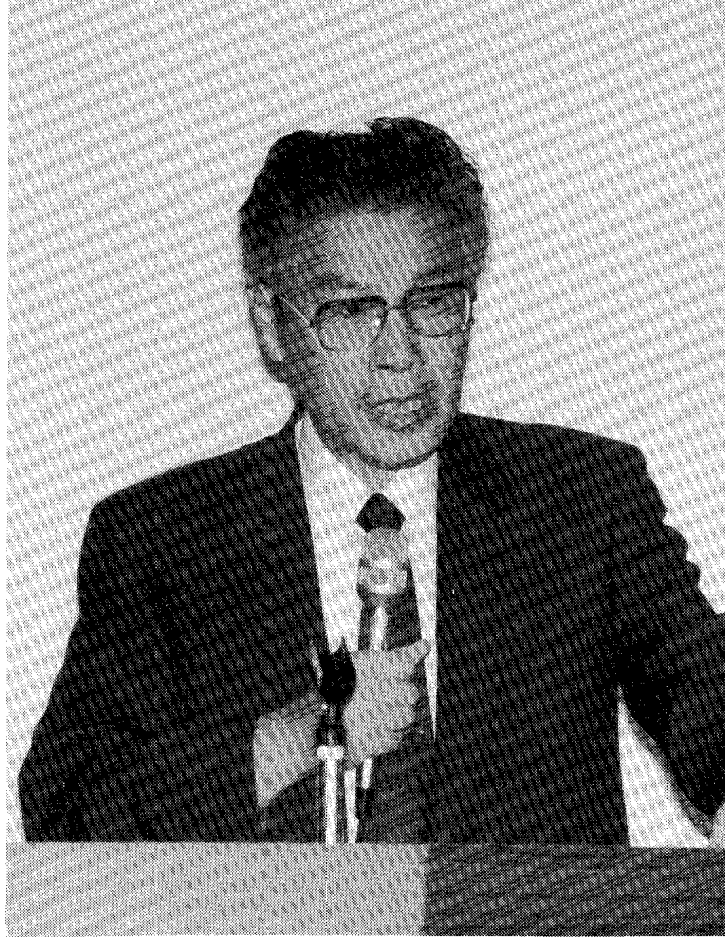
翻訳「社会福祉と

社会変化」

共著 昭和54年3月 誠心書房



窪田 暁子 教授



西 三 郎 教 授